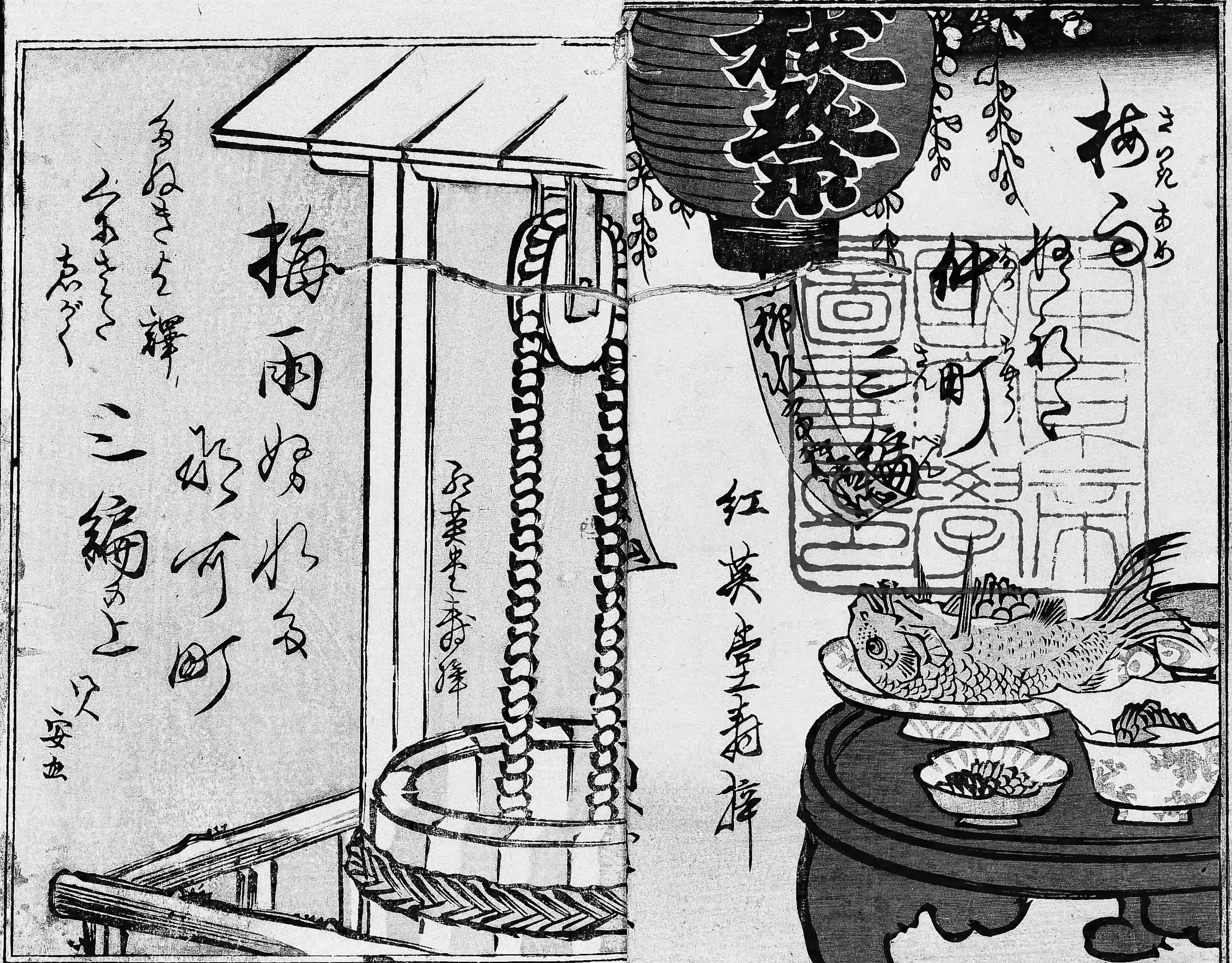
梅雨濃俳諧

下

E 24
202

寄贈 大正十三年八月[illegible]
高[illegible]郎氏



B 4549

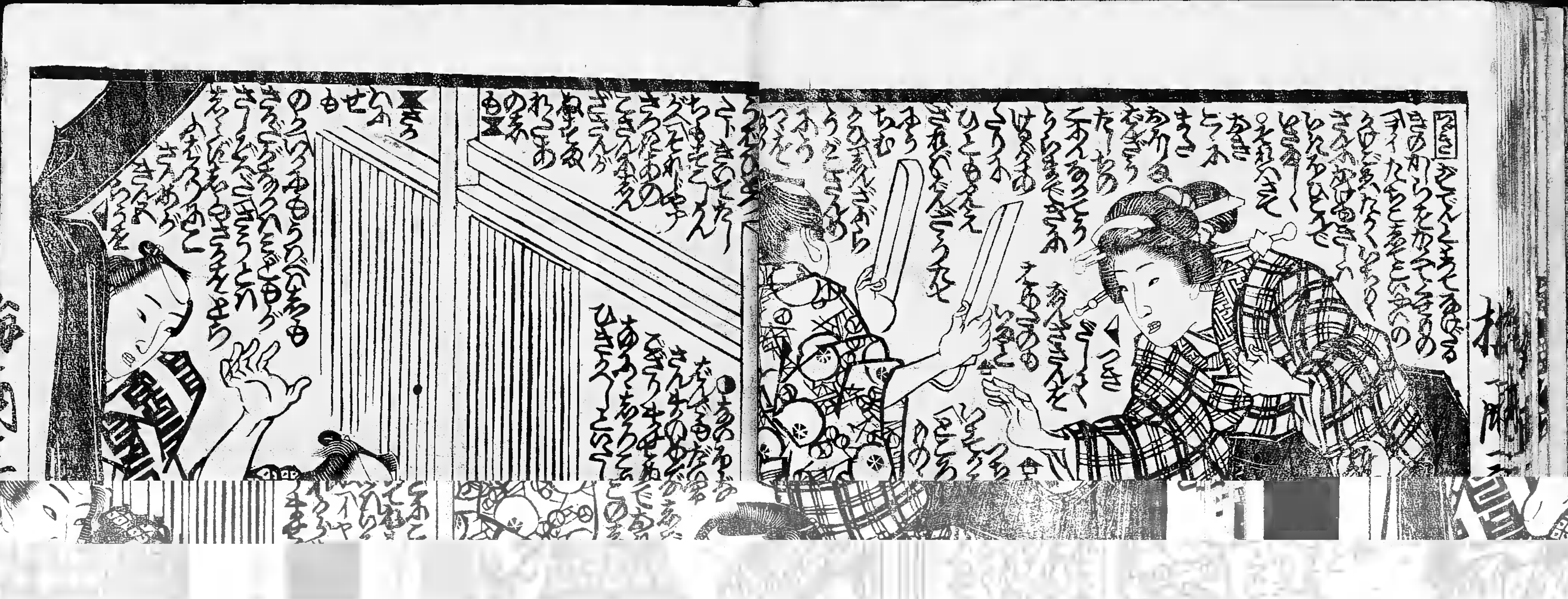
きうたいで
漂伴町 三編
下の巻
文康

梅雨濡仲町三編自序

江の海が白髪に隣る比兵頭兵衛ゆかりの渡奇何歳狗社に
伎行の頃村の松右衛門は棹師（元禄の比揺列役者に）として世に名を挙て貴賤
きしかたは今の時代も専ら鄙桐ばかり上ミ櫓を取て梅乾なる近
退をよく料理て擽抹たる世話物は舩業機菱を目貌なる
も緑故の金五郎其和情の妓姑あり美濃屋三勝は古風なる
佃節あやかり洗柳所涼しの小梅白は夜の月象徴嫁の色
まで遠撑着よりも蓍吉にきそれ硯のうへは乾かぬ隙に
舩をのぼさんと欲す

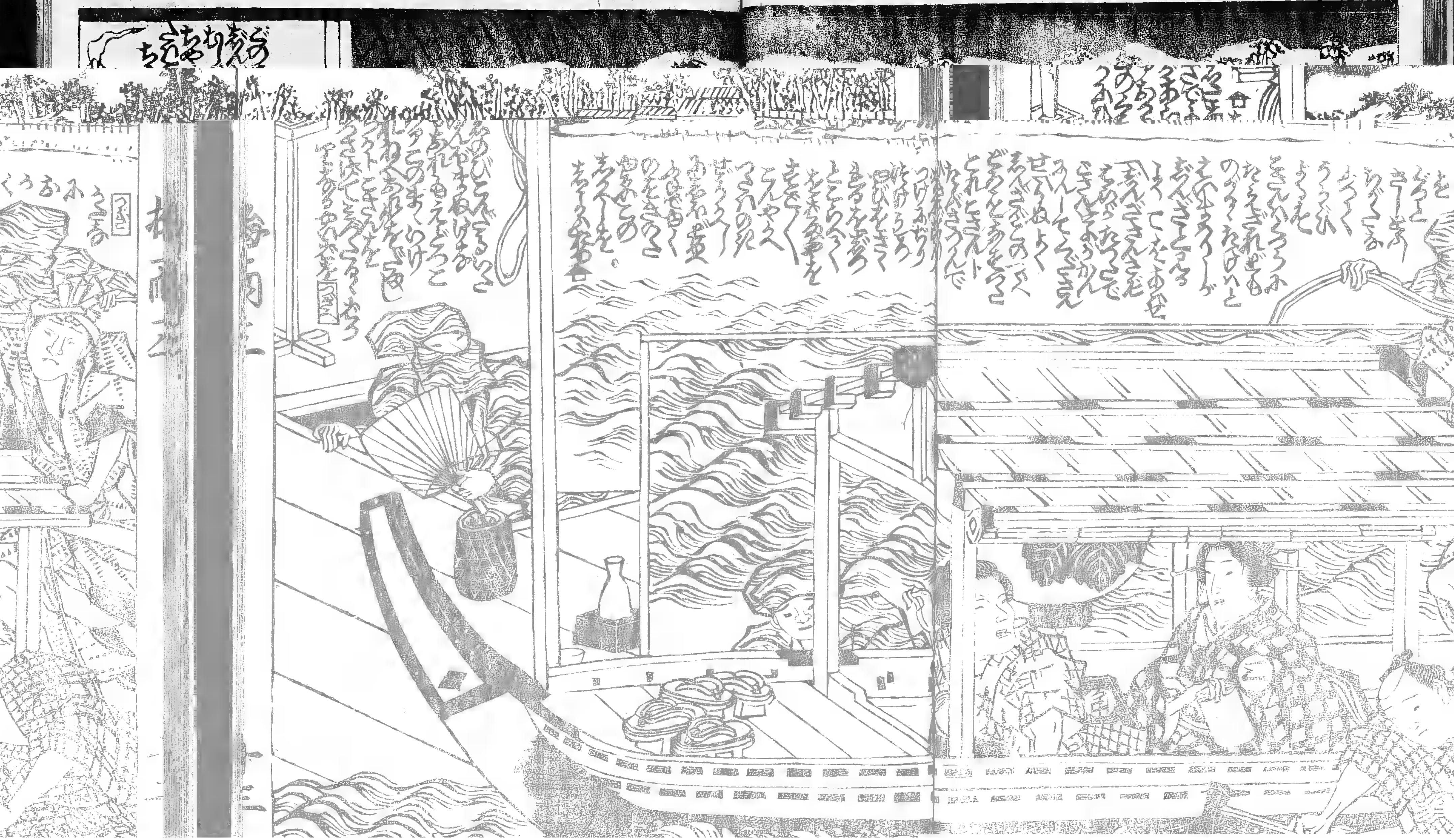
柳水亭種清記

火の用心



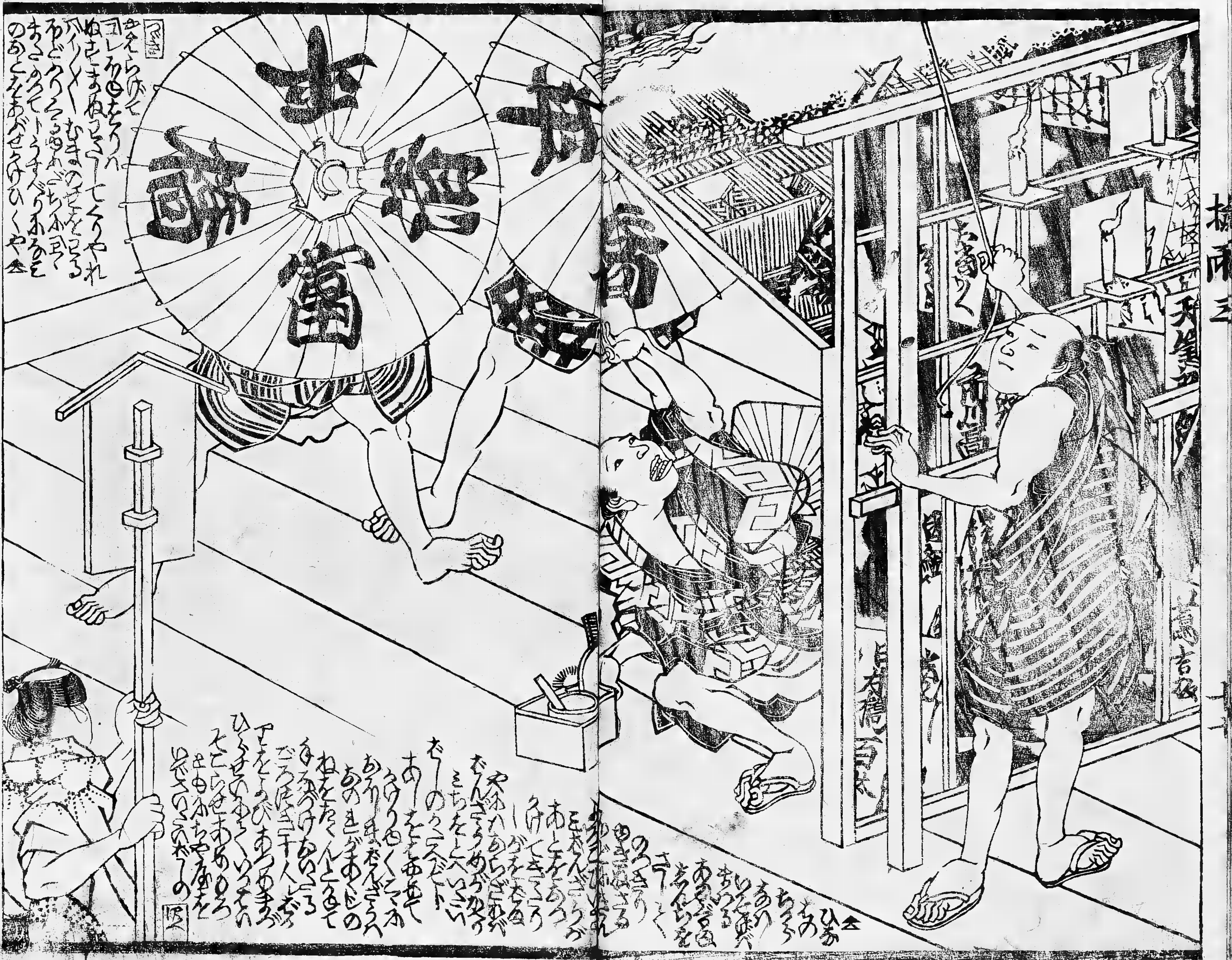
〔つぎに〕へ、がつてんト
ありあはせの[illegible]さ
[illegible]やく上つてくう
ちかくるてつる
[illegible]
[illegible]ちかくる
たゝちをしりさ
[illegible]ざらず
[illegible]くる
[illegible]の
[illegible]
[illegible]
[illegible]ト
[illegible]
をひけまで
あひてあ[illegible]
[illegible]より
おゝ[illegible]の[illegible]
ところ[illegible]ど
[illegible]の
ウント[illegible]とろ
[illegible]と
[illegible]ざら
[illegible]これ
[illegible]
[illegible]を
[illegible]か[illegible]さ
[illegible]かゝつ
[illegible]ひられん
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
まづとかくこきたをひと
つきつれてぶらりとぎ
[illegible]ちの
けのあたり[illegible]
あやさるれおひえんを
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
いよいよときのくるへてらが



つゞき

四の巻へ


つゞき

安政四丁巳新春新鐫目録

童話妙々車 五編 國貞画
是[illegible] 読切 國貞画
大晦日曙草紙 廿三編 廿四編 京山作 國清画
新當織帯屋絡 三 四 五 西馬補 同画
八犬傳犬の艸紙 卅編 卅九編 仙果録 國貞画
悪源太猛勇物語 全 春馬譯 國久画
俠客傳仮名摘略説 十三編 十四編 西馬譯 国綱画
義仲勇戰録 全 同譯 國周画
筆頭當振仕形咄 初集 三集 春馬作 國貞画
伽櫻意白浪 [illegible]
拙細工今戸西行 初編 二編 同作 同画

東都南傳馬町二丁目
地本草紙問屋 蔦屋吉藏板